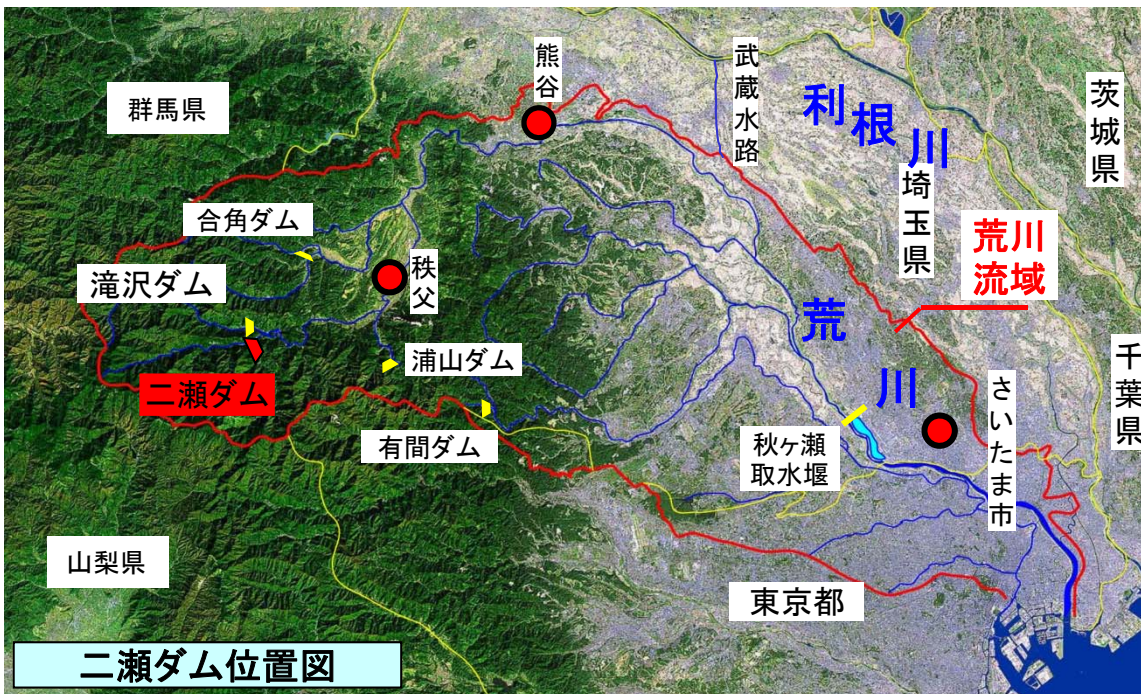


平成27年9月の台風18号における、二瀬ダムへの出水状況(1/2)  
 二瀬ダムでは「東京ドーム約3個分」の洪水をダムに貯留しました。

- 二瀬ダム流域の雨量は、流域平均で総雨量172.4mmを記録しました。
- 二瀬ダムへの流入量は、9月9日14時11分に最大流入量311.97m<sup>3</sup>/sを記録しました。
- 二瀬ダムでは、9月9日3時00分～16日16時00分までの間、ダムへの流入量の一部を貯留し下流へ流す量を最大で188m<sup>3</sup>/s低減しました。
- なお、ダムに貯留した合計量は、410万m<sup>3</sup>で東京ドーム約3個分を貯めたことになります。



- ・荒川の流域面積 2,940km<sup>2</sup>
- ・二瀬ダムの流域面積 170km<sup>2</sup>
- ・二瀬ダムの諸元  
 ダム高 95m  
 ダム堤長288m
- ・有効貯水容量 2,180万m<sup>3</sup>

洪水前の写真



台風前のダム湖

ダムに貯留した写真



410万m<sup>3</sup>  
 東京ドーム約3個分

13.7m上昇

台風後のダム湖  
 平成27年9月9日撮影

## 平成27年9月の台風18号における、二瀬ダムの効果(2/2)

二瀬ダムで貯留することにより、ダムから約3km下流の落合(秩父市)地点の水位は、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、**1.0m水位が低下**していると想定されます。

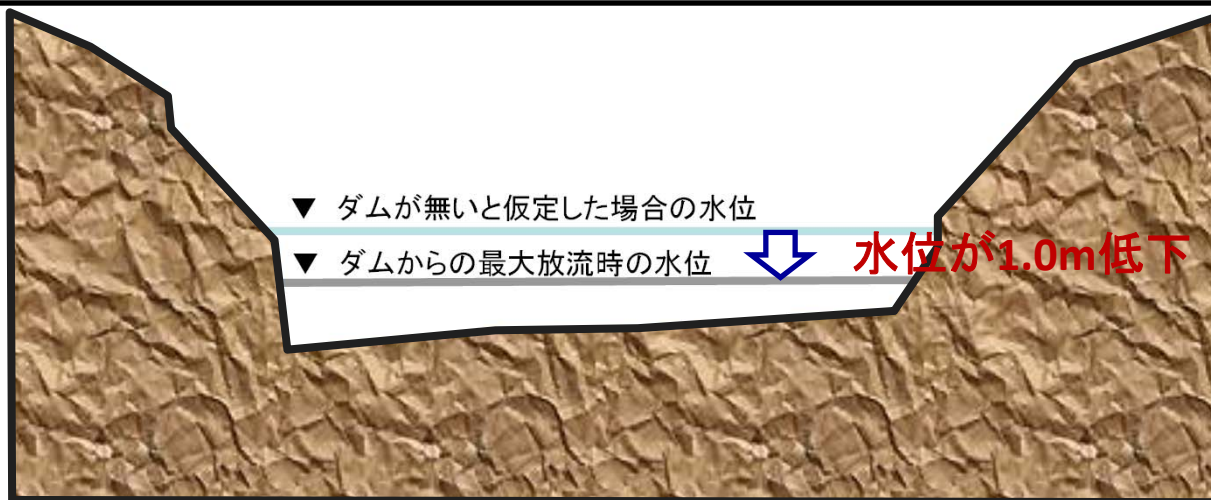


図-1 二瀬ダムにより想定される水位の低減効果

※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、当該時刻のダム地点の貯留量をダム下流の荒川落合地点の水位低減量に換算しています。

ダム流入量ピーク時311.97m<sup>3</sup>/sにおいて、ダム放流量を123.17m<sup>3</sup>/sに低減

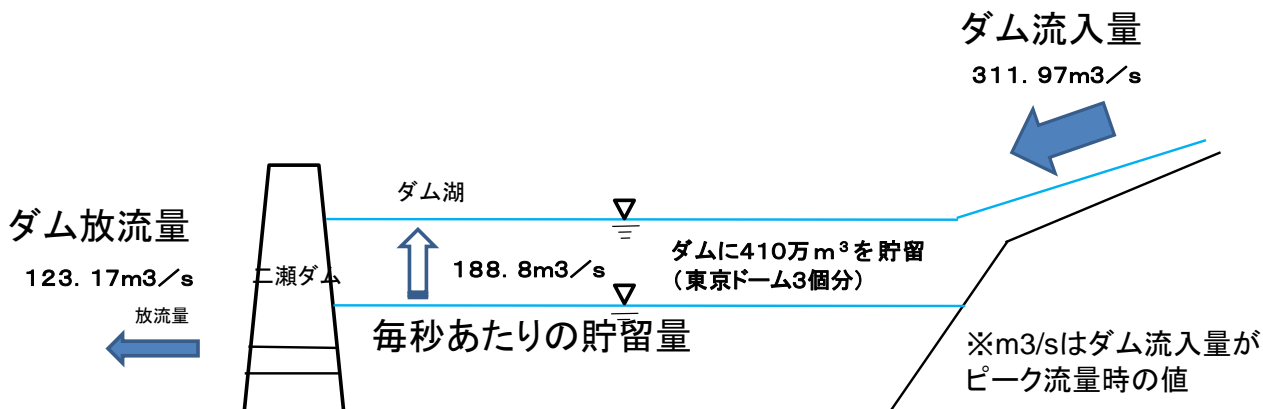


図-2 二瀬ダム模式図

※図1、図2はダム等の状況を説明するため模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。